のアルソントマン氏に話をした處が我々に同情して心配はいらぬ私の方で引受けてやるとの事であつたから提案する事が出來ましたが若しも勞働事務局が受付けて吳れなかつたならば之を提出する事が出來なかつたかも知れぬ私は政府の遣り方は實に卑劣であつたと思ふ政府が我々と戰ふならば立派に敵に對して刀を渡してから何ぜ戰はぬ渡すものを渡さず知つてをる事を話もしないで期間が切れた後話をすると云ふ事は實に卑劣な手段であると考へる。そんな譯で決議案を出したが之に對し佛蘭西や白耳義は我々の味方となつて盡力してくれたが英國は之を餘り喜ばない風に見へたそんな譯で一方では親切にしてくれ片一方では我々の決議案に對し鼻を弁かせる爲決議中過激な文字があるから之を訂さねばならんと言ひ出した。其の過激な文字と云ふのは何でもない「ナショナルレソリション」國内の法規に干渉する事は穩當でないから其點を訂さねば否かん一國の法規を云々するは國際勞働總會として穩當でないから其文字を